

平成 29 年 8 月 23 日
独立行政法人国立科学博物館

報道関係各位

企画展「フローラ ヤポニカー日本人画家が描いた日本の植物ー」
開催ならびにプレス内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：林良博）では、下記のとおり、
企画展「フローラ ヤポニカー日本人画家が描いた日本の植物ー」を開催いたします。
本企画展のオープンに先立ち **9 月 11 日（月）**に、別添のとおり**プレス内覧会**を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

国立科学博物館は、9 月 12 日（火）から 12 月 3 日（日）の期間で、

企画展「フローラ ヤポニカー日本人画家が描いた日本の植物ー」を開催いたします。

わたしたちの日々の暮らしを彩る栽培植物、山野の自然を形づくる野生植物など、日本の豊かな植物多様性を日本人画家が描いた植物画で紹介します。また、英国で創刊され、世界の植物画家に大きな影響を与えた植物学専門誌『カーティスのボタニカルマガジン』に掲載されたイラストレーションの中から幾つかの原画も展示します。

展示のオープンに先立ち、**9 月 11 日（月）15:00～16:00 の間、プレス内覧会**を実施します。プレス内覧会では**当館担当研究者等**による**展示解説**を行います。つきましては、取材・記事の掲載など本企画展の広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

記

【会 場】国立科学博物館（台東区上野公園 7-20）日本館 1 階企画展示室

【開催期間】平成 29 年 9 月 12 日（火）～12 月 3 日（日）

【開館時間】9:00～17:00

※9 月の金・土曜日は 21:00 まで※10・11・12 月の金・土曜日は 20:00 まで

※入館は各閉館時刻の 30 分前まで

【入 館 料】常設展示入館料のみでご覧いただけます。

一般・大学生：620 円（団体 310 円）

※高校生以下および 65 歳以上無料※団体は 20 名以上

【休 館 日】毎週月曜日

※月曜日が祝休日の場合は翌火曜日※ただし、9 月 25 日（月）は開館

【主 催】国立科学博物館、英国キュー王立植物園

【展示概要】別添の「展示概要」参照

【問合せ先】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 担当：持田茂伸

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-5814-9883、FAX：03-5814-9898

E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp

企画展「フローラ ヤポニカー日本人画家が描いた日本の植物」
プレス内覧会のお知らせ
平成 29 年 9 月 11 日（月）15:00～／国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「フローラ ヤポニカー日本人画家が描いた日本の植物」の開催に先立ち、下記のとおりプレス内覧会を実施いたします。また、当日は、当館担当研究者等による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

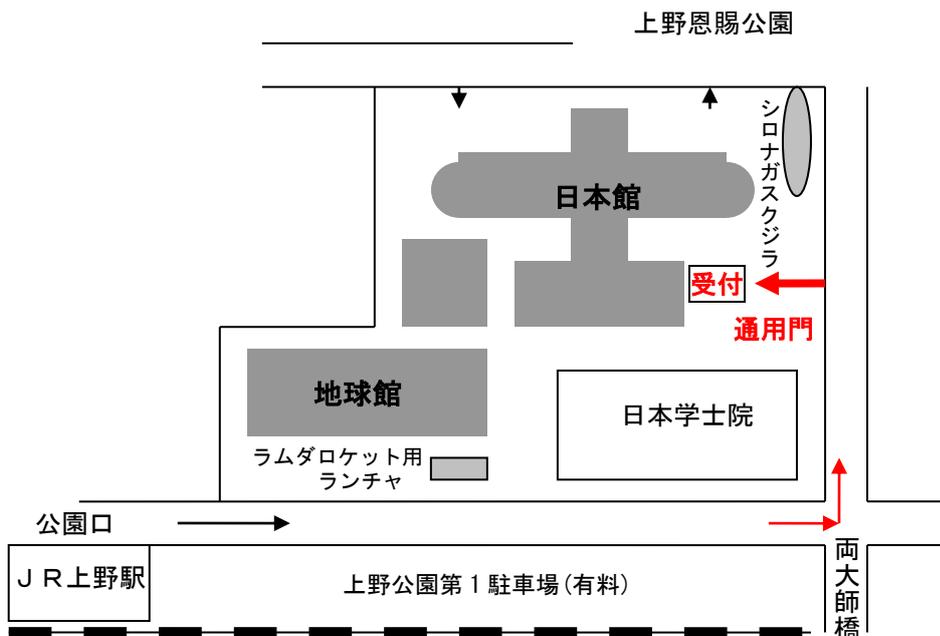
記

【日 時】 平成 29 年 9 月 11 日（月）15:00～16:00（受付開始 14:30～）

【会 場】 国立科学博物館（東京都台東区上野公園 7-20）

【受付場所】 国立科学博物館 事務棟入口 ※通用門からお入りください。

〈交通のご案内〉 JR上野駅公園口から徒歩 5 分
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩 10 分
京成電鉄上野駅から徒歩 10 分
（※駐車場の用意はございません。）



当日のスケジュール

14:30～ 受付開始【受付場所：事務棟入口】

※通用門からお入りください。

15:00～16:00 展覧会内覧【会場：日本館1階企画展示室】

○当館担当研究者等による展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。

当館植物研究部・グループ長 遊川 知久
英国キュー王立植物園・公認画家 山中 麻須美

○展示室内の撮影が可能です。

展示監修者のプロフィール



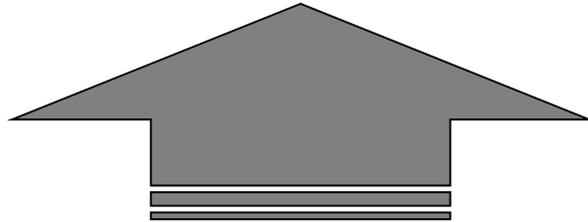
国立科学博物館植物研究部・多様性解析・保全グループ
グループ長 遊川 知久（ゆかわ ともひさ）

植物の多様性に関わる3つのテーマ-多様性の実体把握、多様化の原因と過程の解明、多様性の保全-に興味を持って、ラン科を中心に研究している。また、絶滅のおそれのある種や遺伝資源を次世代に伝えるための活動を行っている。



英国キュー王立植物園・公認画家
山中 麻須美（やまなか ますみ）

1957年生れ、奈良市出身。1987年に英国マークス&スペンサーの陶磁器デザイナーとして渡英。2004年よりパンドラ・セラーズに師事、植物画を学び2007年よりキュー王立植物園の公認植物画家となる。植物画の傍ら、展示会コーディネーターとしてFlora Japonicaを手掛ける。在英30年。



【 返 信 用 紙 】

F A X 番 号

< 0 3 - 5 8 1 4 - 9 8 9 8 >

企画展「フローラ ヤポニカ

—日本人画家が描いた日本の植物—」

プレス内覧会 参加票

(平成29年9月11日(月) 15:00~ ※受付:14:30~)

参加をご希望される方は、下記項目にご記入の上、9月8日(金)までに
FAXにてご返信いただければ幸いです。

お手数をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

□ご出席

貴社名 _____

貴メディア・所属部署名 _____

ご芳名 _____

連絡先

住所：〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

メールアドレス： _____

備考 _____

企画展

Flora Japonica

—日本人画家が描いた日本の植物—
フローラ ヤポニカ

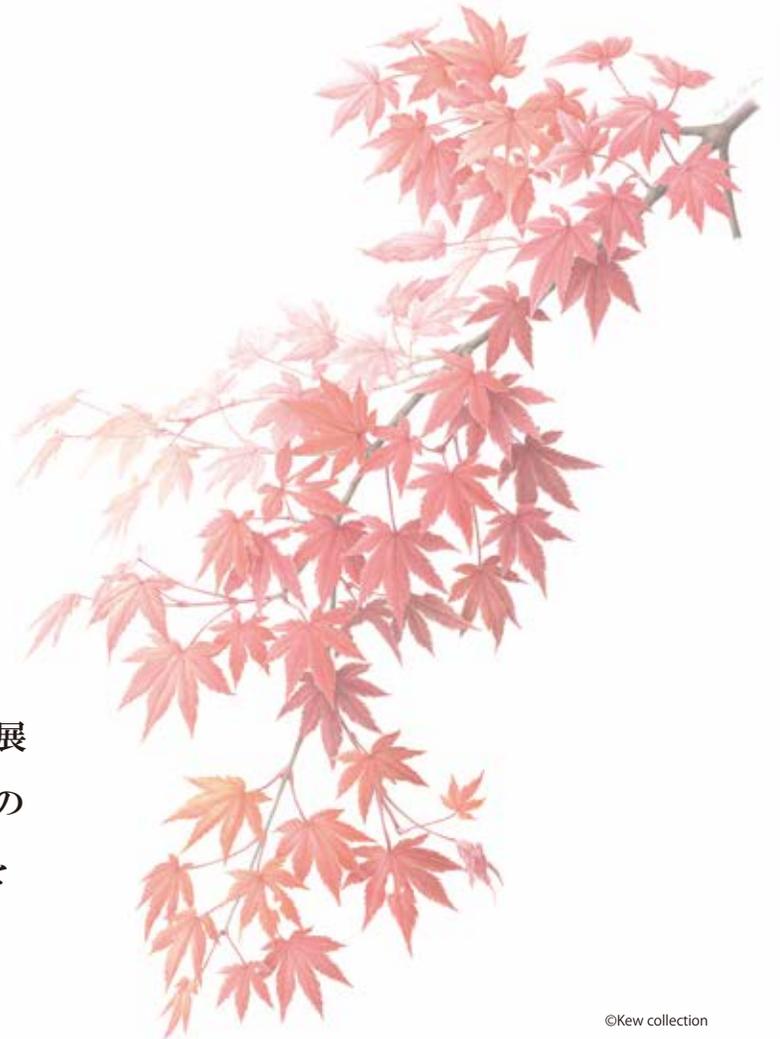
【展示概要】

2016年9月から2017年3月まで
英国キュー王立植物園で「Flora Japonica」展
が開催されました。これは日本人画家が日本の
植物を描いた作品展で、現地で大きな注目を
集めました。

西洋における日本の植物の探究は、本展の
タイトルでもある「Flora Japonica（日本植物誌）」
として、ツンベルク、ついでシーボルトの著作に
はじまります。それまで知られていなかった魅力的な植物の数々は人々の心を捉え、またたく間に庭園に広まりました。先般の英国での反響からも、日本の植物が今なお多くの方々を魅了している様子を感じ取ることができます。

このたび当館では、キュー王立植物園についてこれらの作品から選んで展示することになりました。また、英国で創刊され、世界の植物画家に大きな影響を与えた植物学専門誌『カーティスのボタニカルマガジン』に掲載されたイラストレーションの中から幾つかの原画も展示します。これらの原画は、キュー王立植物園以外では世界で初めての展示となります。

日本列島には約6700種の陸上植物が自生しています。そのうち約1800種が、地球上で日本だけに生育している日本固有の植物です。一方わたしたちの祖先は、野生植物や古く海外から持ち込んだ植物をもとに、食卓や庭を彩るさまざまな栽培植物を育て上げました。こうした日本の植物多様性の豊かさと美しさを、国際的にも高く評価されている日本人画家による洗練された表現を通して感じていただければ幸いです。



©Kew collection

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。
国立科学博物館ホームページの各種手続き・報道関係資料→写真・施設の貸出からお申し込みできます。
(<http://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



1. 企画展「Flora Japonica」チラシ表面
画像提供: 国立科学博物館
©Kew collection



2. 「イロハモミジ」
©Kew collection



3. 「キリ」
©石川美枝子



4. 「ウンシュウミカン」
©宮澤香代子



5. 「ホオノキ」
©小西美恵子



6. 「アサガオ」(1868年)
©Kew collection

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 展覧会の開催情報紹介欄に、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は確認のため、校正の段階でお送りください。(記事内容をチェックするものではありません。)
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りいたしますようお願い申し上げます。

〈広報に関するお問い合わせ先〉 国立科学博物館 事業推進部 広報・運営戦略課 園山千絵
電話 03-5814-9855 FAX 03-5814-9899
E-mail: shuzai@kahaku.go.jp
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

企画展

Flora Japonica

—日本人画家が描いた日本の植物—
フローラ ヤポニカ



©Kew collection

2017
9/12 火
〜
12/3 日

国立科学博物館
(東京・上野公園)
日本館1階企画展示室

主催：国立科学博物館、英国キュー王立植物園
後援：ブリティッシュ・カウンシル、朝日新聞社
協賛：公益財団法人東芝国際交流財団

開館時間／9：00～17：00

※9月の金・土曜日は21：00まで
※10・11・12月の金・土曜日は20：00まで
※入館は各閉館時刻の30分前まで

休館日／毎週月曜日

※月曜日が祝休日の場合は翌火曜日
※ただし、9月25日(月)は開館

入館料／一般・大学生620円(団体310円)
高校生以下および65歳以上無料

Flora Japonica

日本列島には約6700種の陸上植物が自生しています。そのうち約1800種が、地球上で日本だけに生育している日本固有の植物です。一方わたしたちの祖先は、野生植物や古く海外から持ち込んだ植物をもとに、食卓や庭を彩るさまざまな栽培植物を育て上げました。こうした日本の豊かな植物多様性を日本人画家が描いた植物画作品展が、英国キュー王立植物園で2016年9月から2017年3月まで開催されました。本展ではこれらの作品から選んで展示します。また、英国で創刊され、世界の植物画家に大きな影響を与えた『カーティスのボタニカルマガジン』に掲載されたイラストレーションの中から幾つかの原画も展示します。これらの原画は、キュー王立植物園以外では世界で初めての展示となります。

日本人画家が描いた日本の植物

四季を彩るなじみ深い植物や栽培植物の数々、キリ、イロハモミジ、ヤブツバキ、ウンシュウミカンなどとともに、ハマギク、ホオノキ、シラネアオイ、コウヤマキといった日本のユニークな生物多様性を象徴する固有種、また、ヤマシャクヤク、ホソバシャクナゲ、サンショウバラ、エゾウスユキソウなど絶滅のおそれのある種の作品などを展示します。日本の植物多様性の豊かさとしさを、日本人画家による洗練された表現でお楽しみください。

また、キュー王立植物園の公認画家、山中麻須美氏の描いた「奇跡の一本松」を展示します。東日本大震災の際に奇跡的に難を逃れた、陸前高田市の海岸のアイグロマツを描いたものです。



●キリ ©石川美枝子



●ウンシュウミカン ©宮澤香代子



●ホオノキ ©小西美恵子

『カーティスのボタニカルマガジン』イラストレーション原画

『カーティスのボタニカルマガジン』は1787年に創刊され、230年を経た今日でも刊行されている植物学の専門誌です。今回は日本に自生あるいは栽培される植物を紹介したイラストレーション原画を、19世紀のナンテン(1808年)、ヤエヤマブキ(1810年)、トベラ(1811年)、ジンチョウゲ(1813年)、アサガオ(1868年)から、現代のムベ(2012年)、ヒロハカツラ(2013年)、イチヨウ(2013年)までを展示します。



●アサガオ(1868年) ©Kew collection

特別講演「キューガーデンと植物画」

11月3日(金・祝) 13:30~15:00

講師 クリスタベル・キング
(英国キュー王立植物園・首席画家)



山中麻須美
(英国キュー王立植物園・公認画家)



会場 日本館2階講堂

定員 100名

(申込み受付開始8月17日(木)~締切10月18日(水) 必着)

※申込み方法は、台東区ホームページ内、上野の山文化ゾーンフェスティバル「講演会シリーズ」のページをご確認ください。

(<http://www.city.taito.lg.jp/>)

※【お問合せ】上野の山文化ゾーン連絡協議会事務局
TEL: 03-5246-1153 (平日8:30~17:00)

交通ガイド

- JR
「上野駅」公園口から徒歩5分
 - 東京メトロ銀座線・日比谷線
「上野駅」から徒歩10分
 - 京成電鉄
「京成上野駅」から徒歩10分
- ※駐車場はありませんので、お車での来館はご遠慮ください。



〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
TEL: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
FAX: 03-5814-9898
<http://www.kahaku.go.jp/>